

中間決算説明会

この資料の中で将来の見通しに関する数値すなわち2001年3月期の業績見通しにつきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中には、リスクや不確定な要因も含まれております。
従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。

ヤマハ株式会社

2000.11.24

1. 上期業績と 通期の見通し

1-1. 上期業績

上期業績概要

(億円)

	当初予想 (’00/5/26発表)	実績	+/-
売上高	2,550	2,512	▲38
営業利益	105	125	+20
経常利益	100	139	+39
当期利益	70	100	+30
R O E	3.8%	5.4%	-

上期為替レート

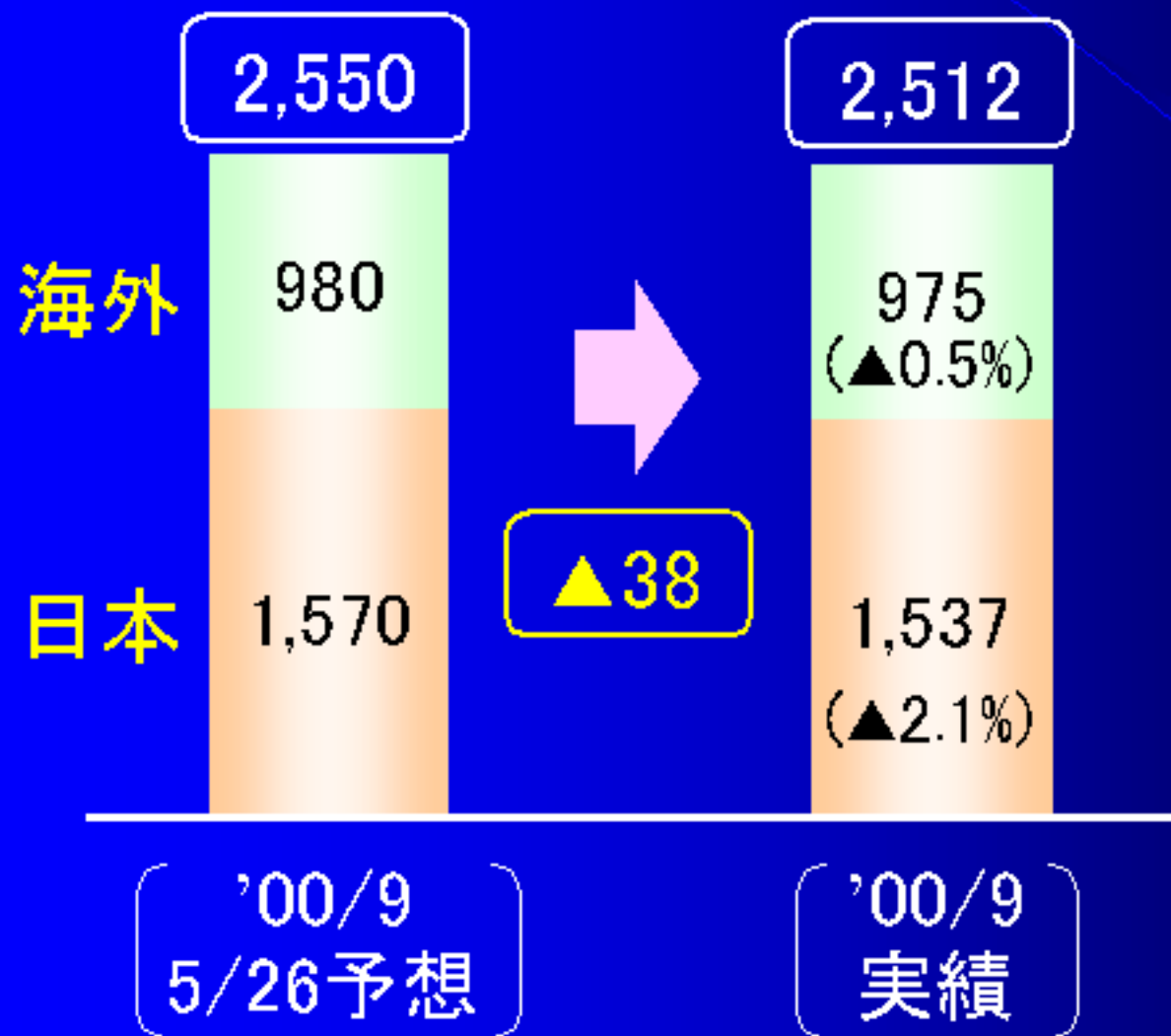
('00/9
 5/26予想) ('00/9
 実績)

(影響額)

USドル	100	107	➔	売上高	+26億円
EURO	105	99		利益	+6億円

上期売上高

(億円)

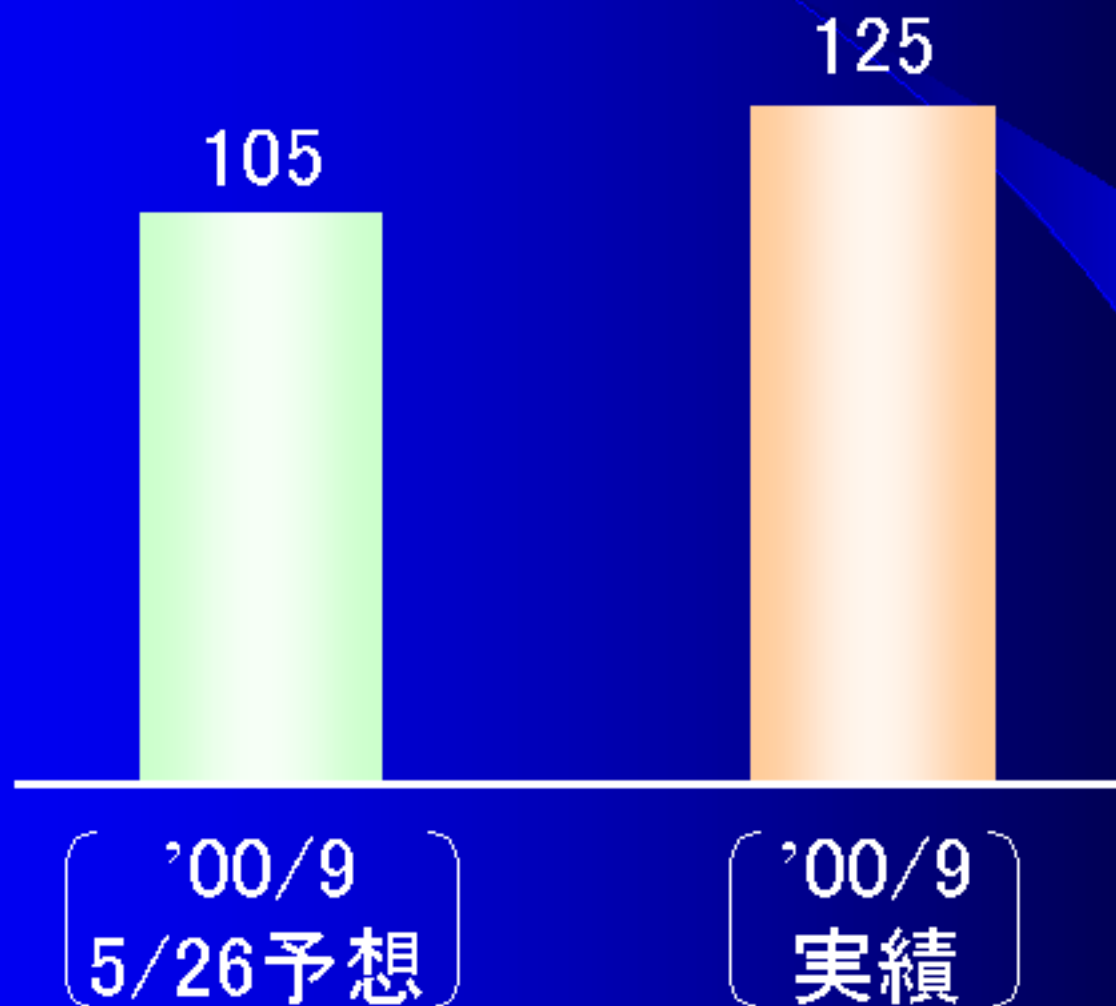


差異の内容

- 国内楽器減収 ▲63
- 半導体増収 +31

上期営業利益

(億円)



営業利益変動要因

■ 増益要因

(5/26予想比)

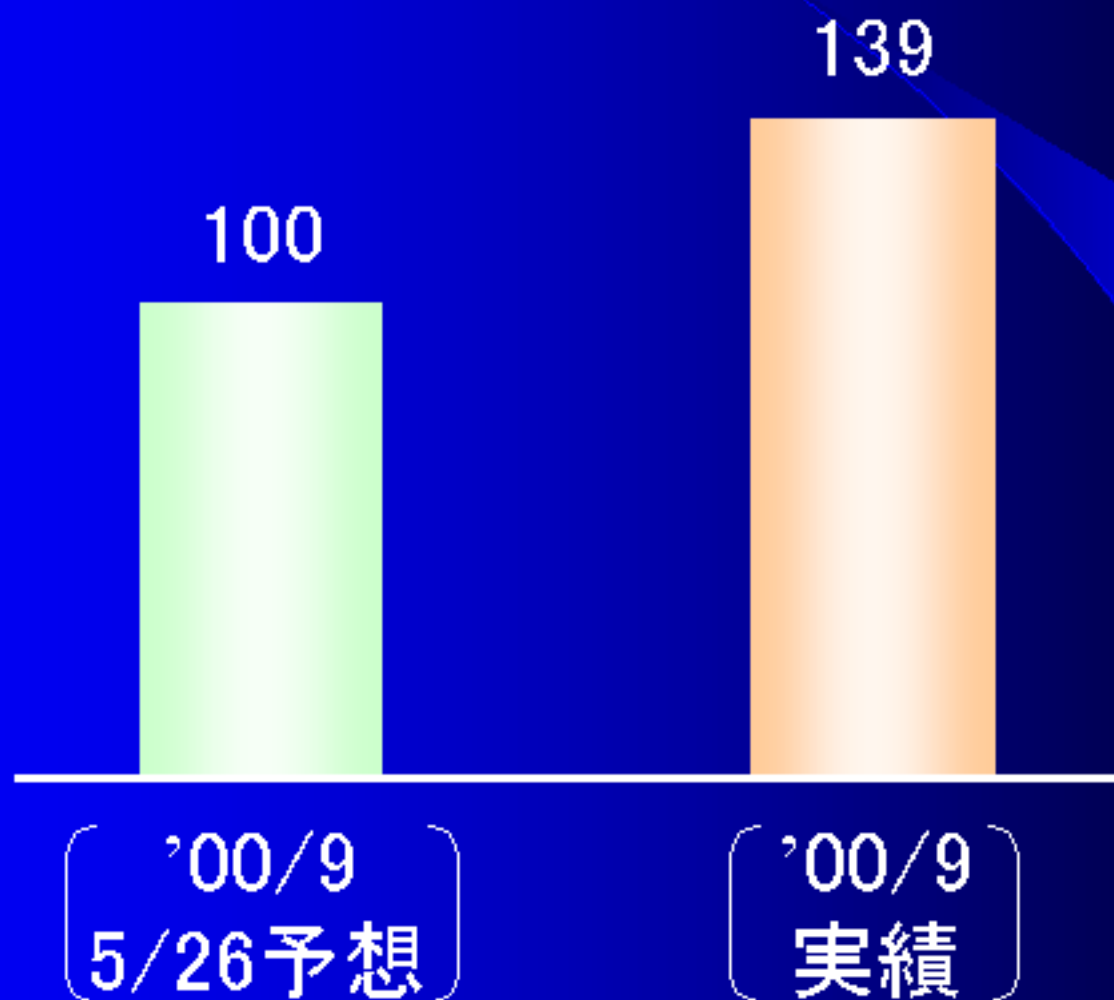
-電子機器・金属利益増	+33億円
-為替差益	+6

■ 減益要因

-レクリエーション利益減	▲7億円
-楽器国内利益減	▲8

上期経常利益

(億円)



営業外収支

■営業外収入

(5/26予想比)

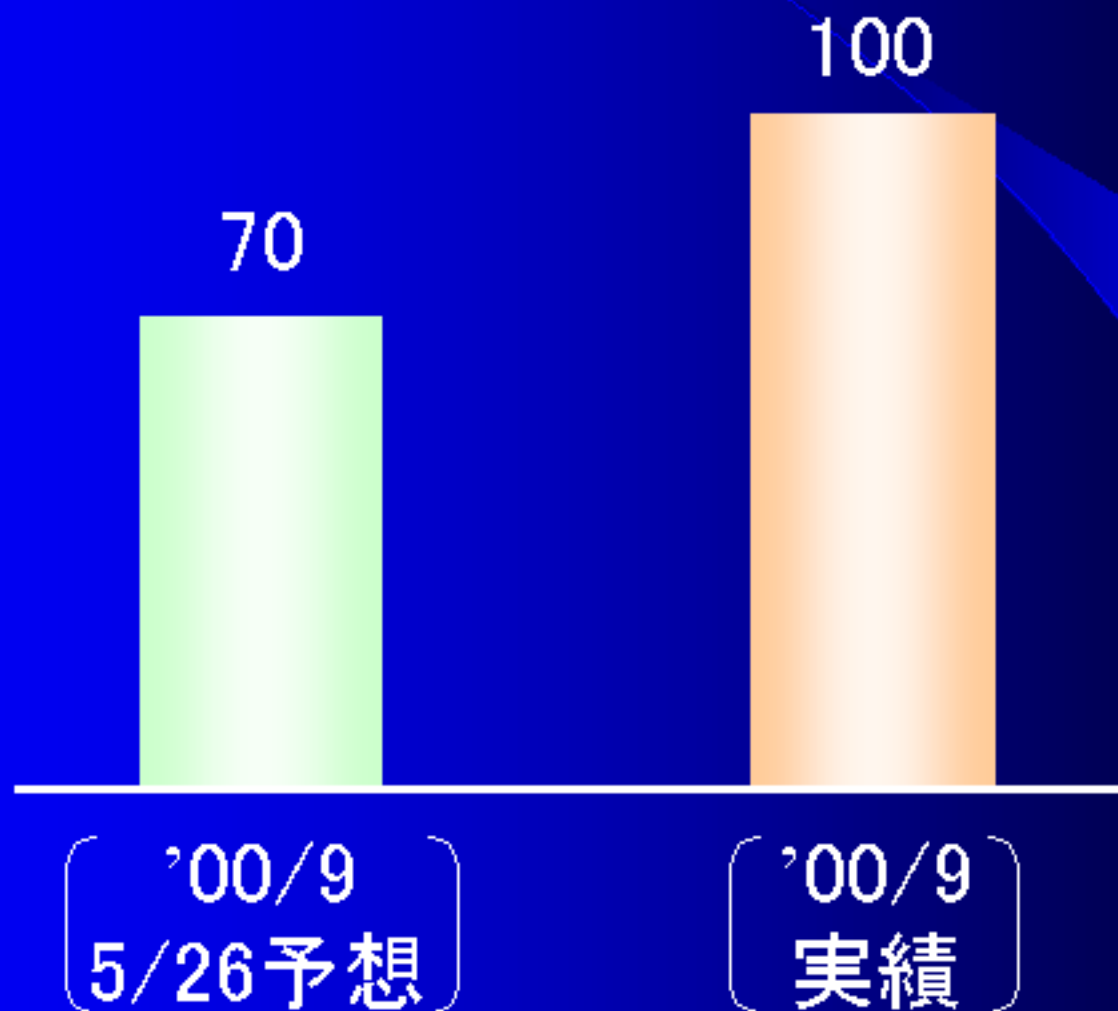
-持分法投資利益	33億円	(+20)
-受取利息他	17	(-)
(計)	50	(+20)

■営業外費用

-支払利息・割引料	13億円	(▲2)
-その他営業外費用	23	(+3)
(計)	36	(+1)

上期当期利益

(億円)



上期特別損益/法人税等

■ 特別利益		(5/26予想比)
-固定資産売却益	34億円	(+19)
-投資有価証券売却益	19	(+19)
-その他特別利益	2	(+2)
(計)	55億円	(+40)
■ 特別損失		
-退職給付会計差異償却	28億円	(+28)
-金融商品時価会計	2	(+2)
-固定資産除却損他	4	(▲11)
(計)	34億円	(+19)
■ 法人税等・法人税等調整額	60億円	(+30)

1-2. 通期業績

通期業績概要

(億円)

	前期実績 (’00/3)	当期見込 (’01/3)	+/-	当初予想 (’00/5/26発表)
売上高	5,278	5,200	▲78	5,200
営業利益	80	220	+140	190
経常利益	85	190	+105	170
当期利益	▲407	125	+532	120
R O E	-	6.6%	-	6.3%

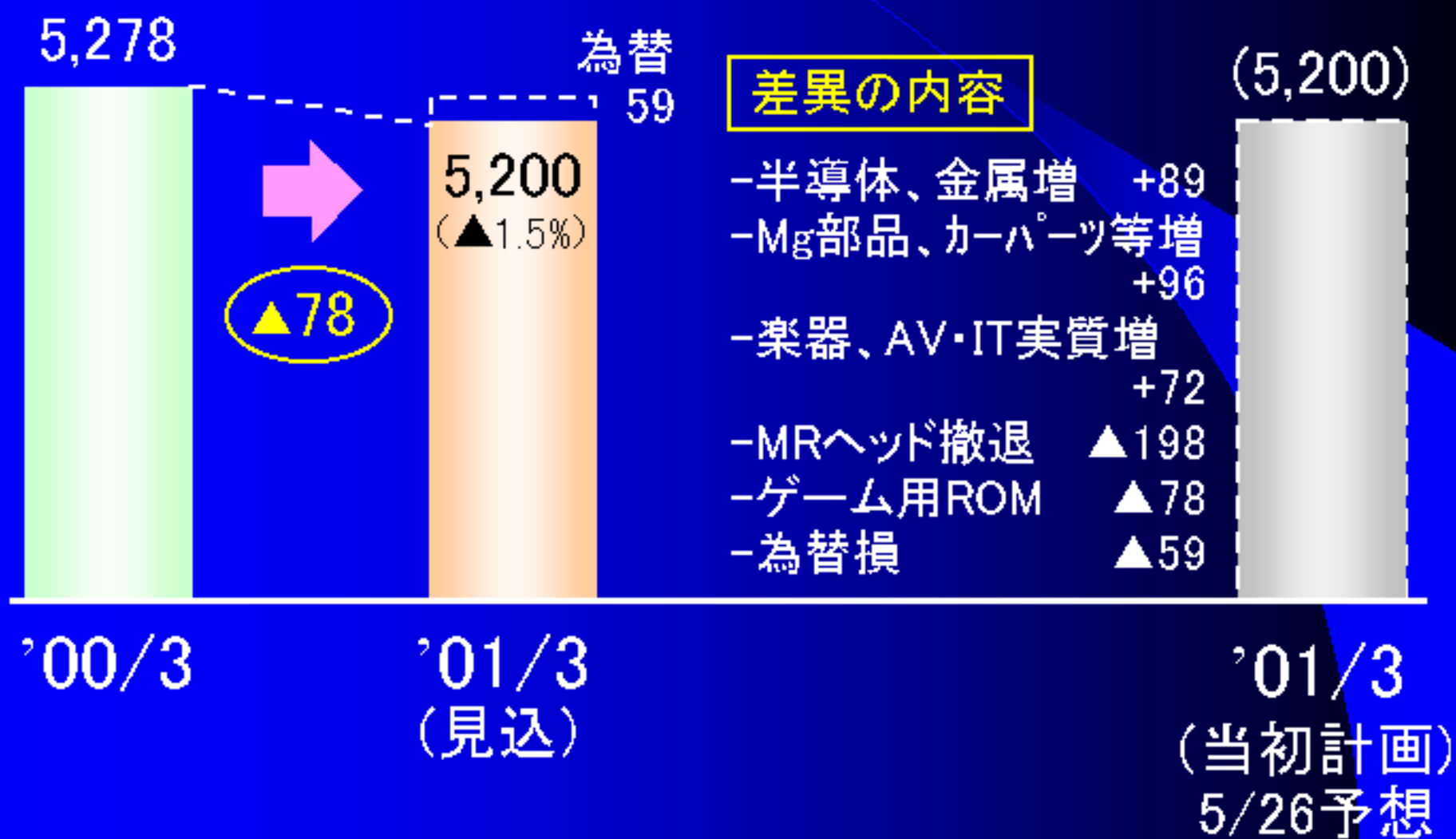
為替レート

	'00/3 〔期中平均〕 レート	上期平均 レート	下期計画 レート	'01/3 〔通期平均〕 レート	当初予想 (5/26)
USドル	114	107	107	107	100
EURO	119	99	92	95	105
<p>(影響額) 売上高 ▲201億円 (*▲59億円) 利益 ▲163億円</p>					

(*) 前期との実質為替影響は、▲201億円となるが、前期売上高は期末日レート(US\$=106円 EUR=102円)で換算している為、名目上の売上高影響は▲59億円となる。

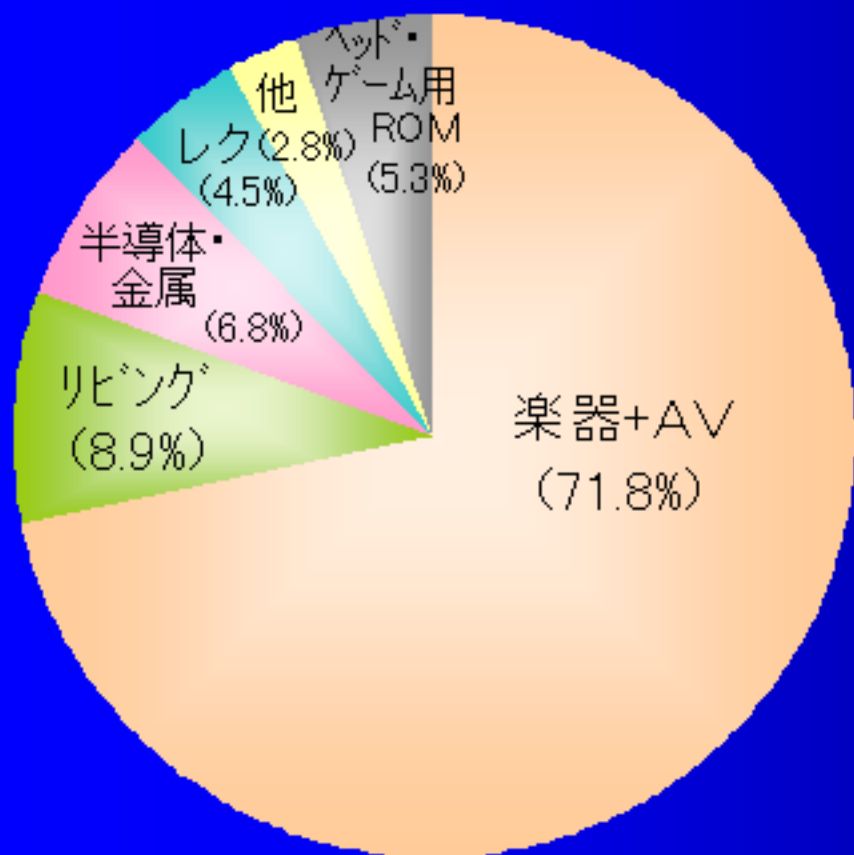
売上高

(億円)

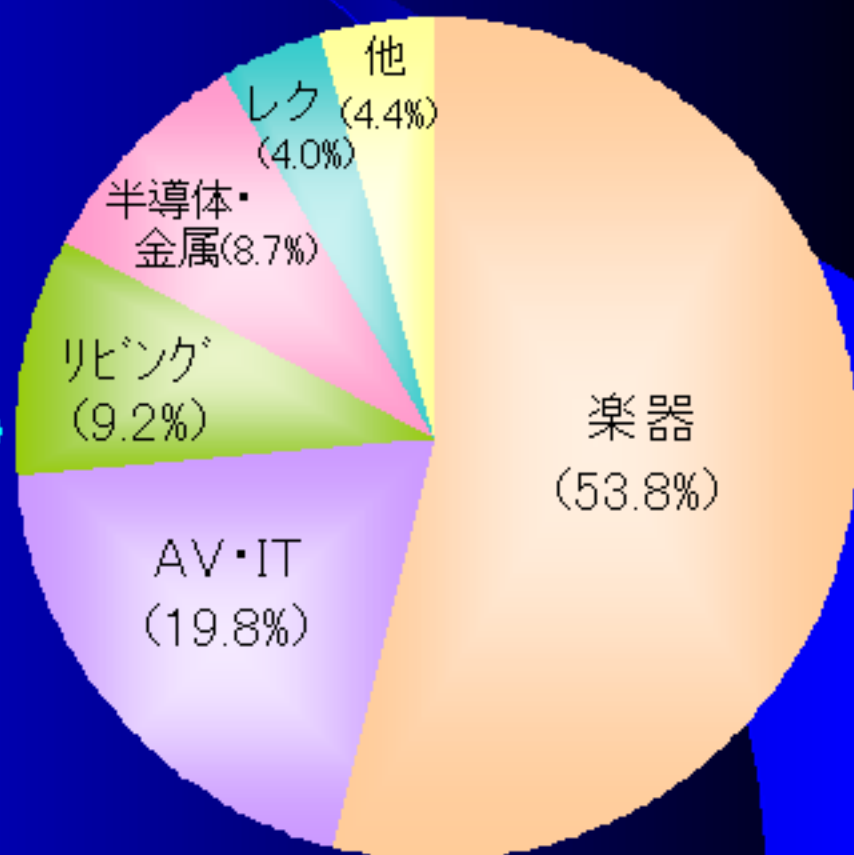


事業別売上高

'00/3



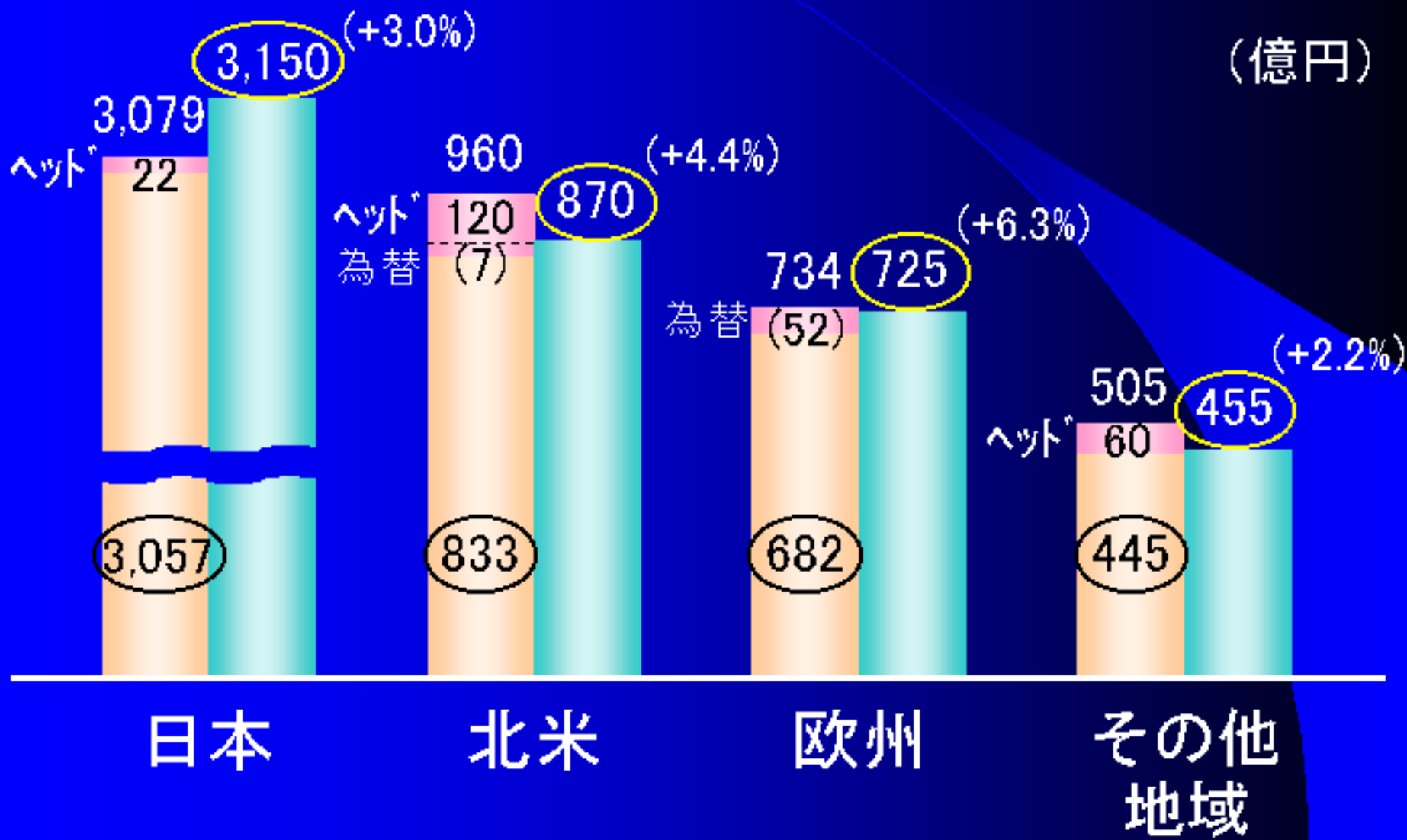
'01/3
(見込)



地域別売上高

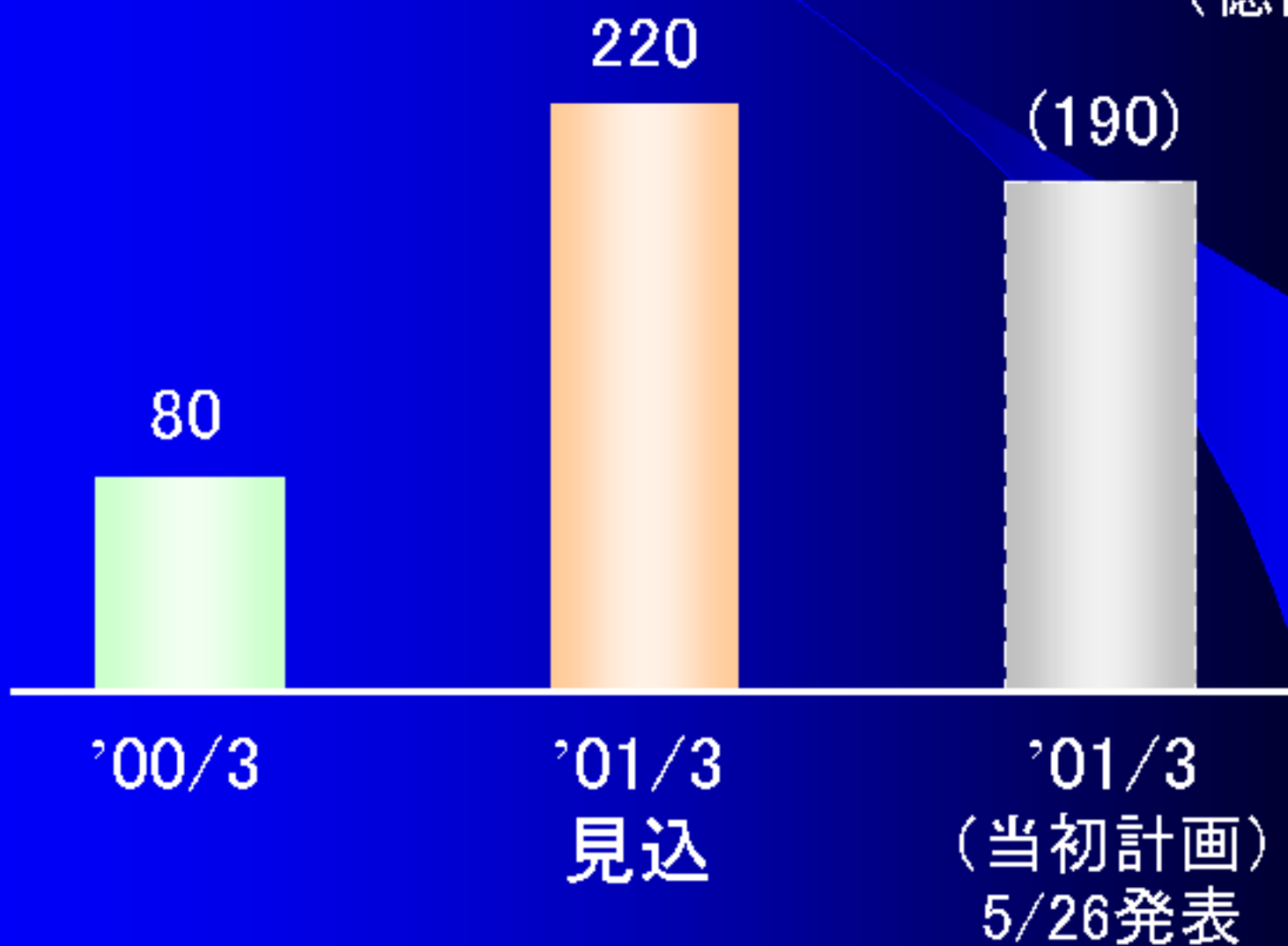
'00/3 (実績) '01/3 (予想)

(億円)



営業利益

(億円)



対前年営業利益変動要因

■ 増益要因

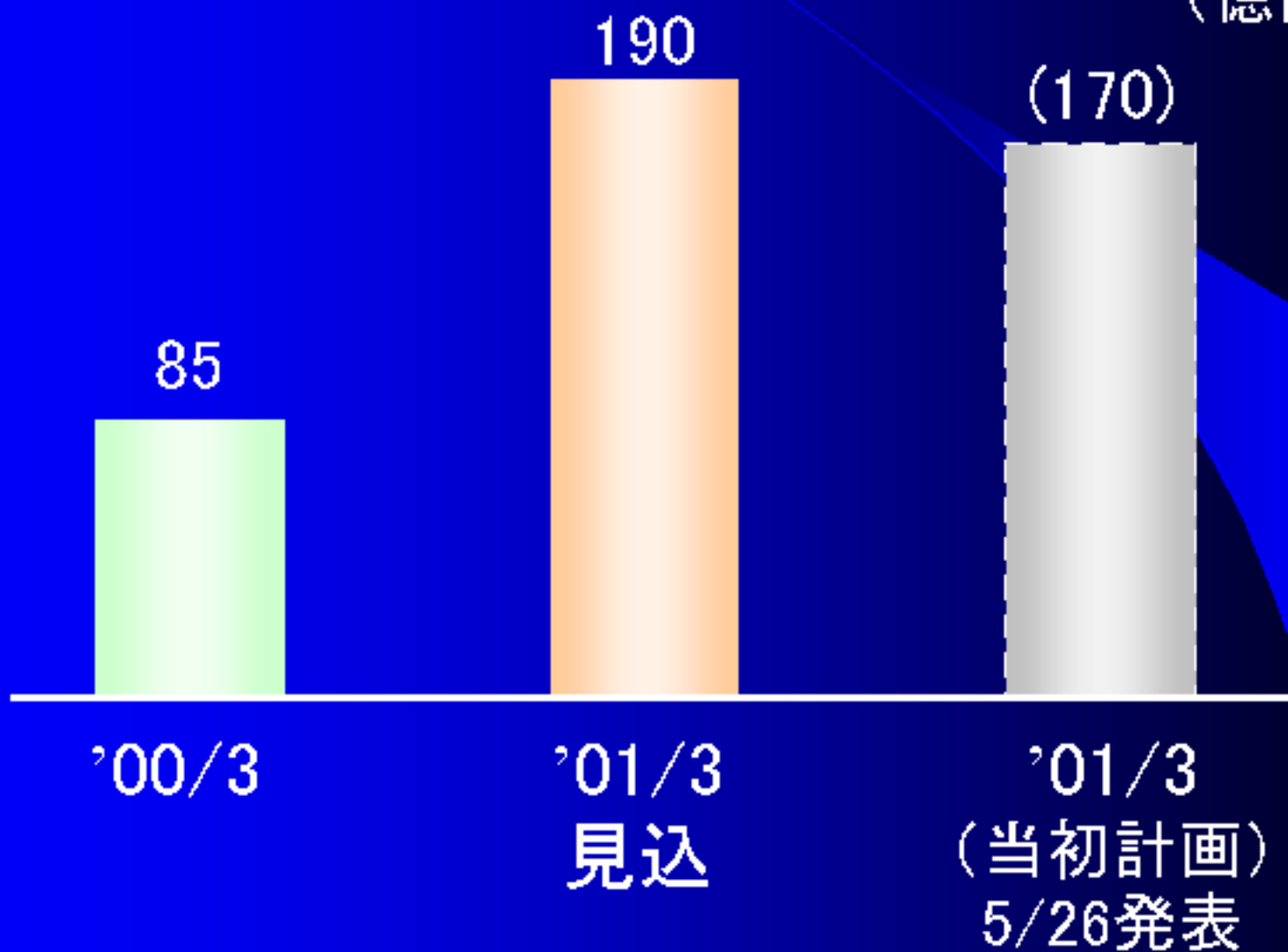
-磁気ヘッド事業撤退	+132億円
-半導体損益改善	+105億円
-楽器、AV・IT事業増益	+22億円
-子会社損益改善 (YLT、メタニクス他)	+27億円
-合理化、人件費等経費減	+17億円

■ 減益要因

-為替影響	▲163億円
-------	--------

経常利益

(億円)



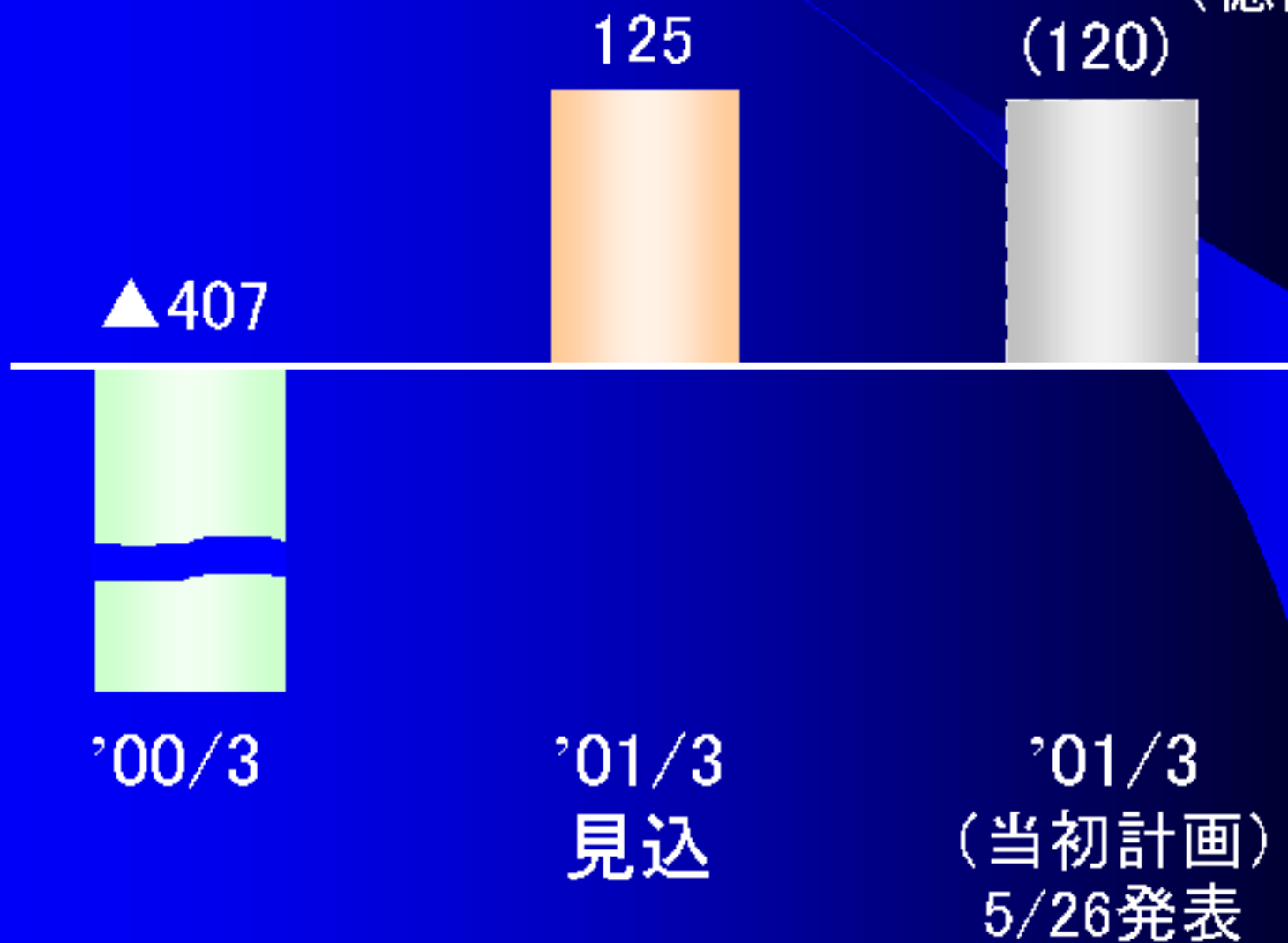
営業外収支 (対前年変動要因)

■営業外収支(前期比▲35億円)

	(前期比)
-持分法投資利益	20億円 (▲22億円)
-有価証券売却益 (当期より、特別利益へ変更)	0億円 (▲32億円)
-その他営業外収支	▲50億円 (+19億円)

当期利益

(億円)



特別損益 (対前年変動要因)

■特別損益(前期比+601億円)	(前期比)
-リストラ関連費用 (早期退職 217、 退職年金 267、磁気ヘッド撤退 174)	0億円 (+658億円)
-固定資産、 投資有価証券売却益他	+40億円 (▲57億円)
■法人税等・法人税等調整額	105億円 (+174億円)

上期单独業績

(億円)

	前期実績 (’99/9)	当期実績 (’00/9)	+/-	当初予想 (’00/5/26発表)
売上高	1,996	1,783	▲213	1,700
営業利益	▲1	83	+84	50
経常利益	▲6	104	+110	60
当期利益	▲159	74	+233	55

通期单独業績予想

(億円)

	前期実績 ('00/3)	当期見込 ('01/3)	+/-	当初予想 ('00/5/26発表)
売上高	3,691	3,400	▲291	3,300
営業利益	▲56	85	+141	60
経常利益	▲73	105	+178	80
当期利益	▲367	75	+442	70

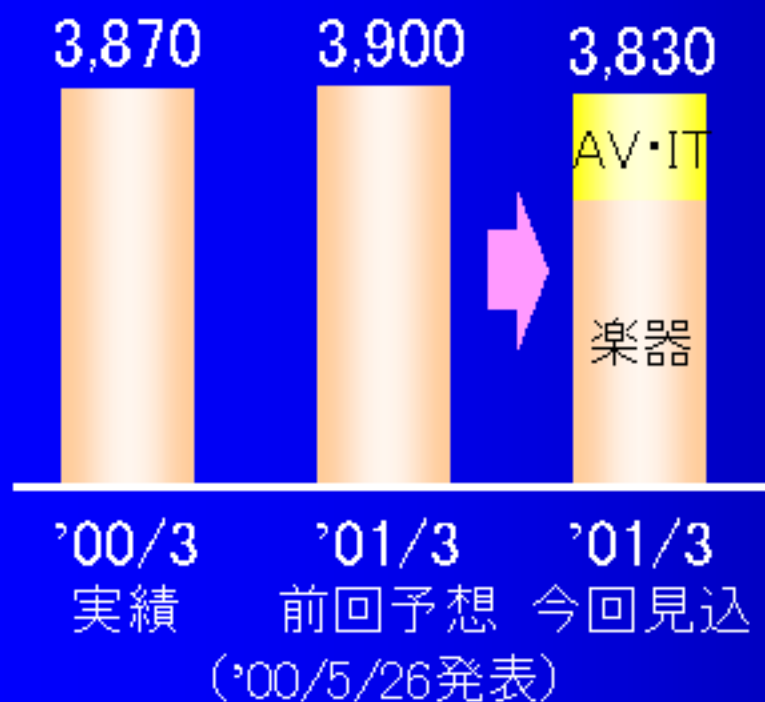
1-3. セグメントごとの 状況

楽器 / AV・IT

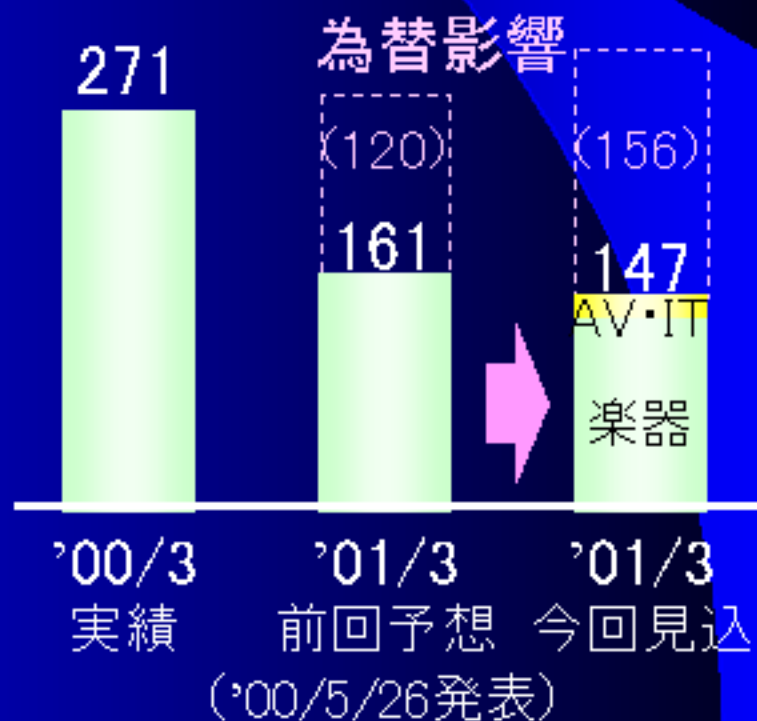
- 海外は為替を除けば堅調。国内は減少。
- 利益は為替を除けば実質増益。

(億円)

<売上高>



<営業利益>

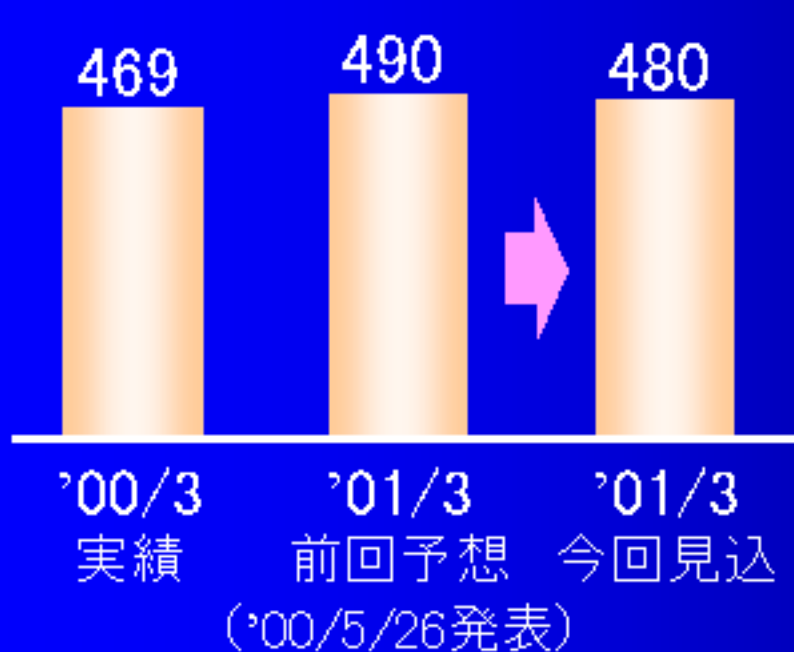


リビング

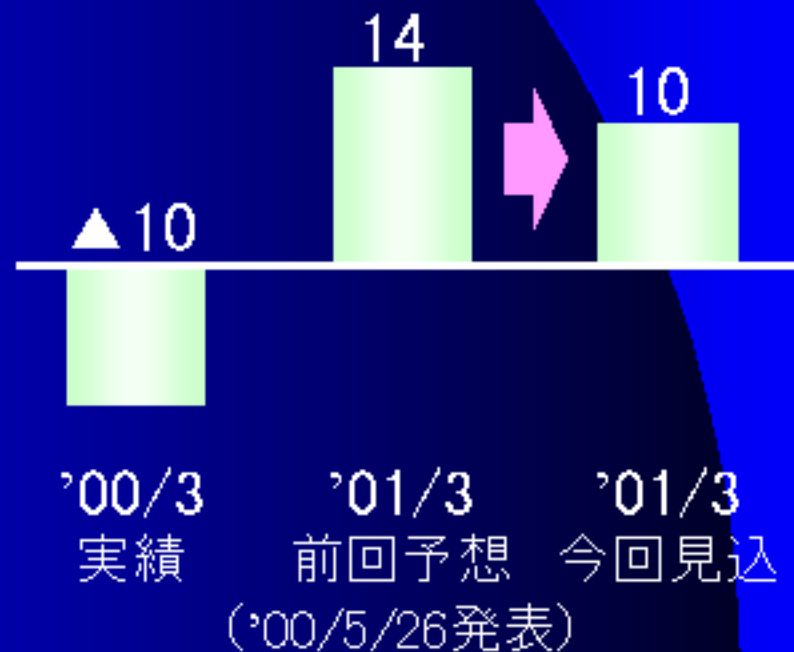
- 持ち家着工数の減少等、市場環境は厳しい。
- リビング事業は、新商品効果と固定費削減により、3年振りに黒字化達成が見込まれる。

(億円)

<売上高>



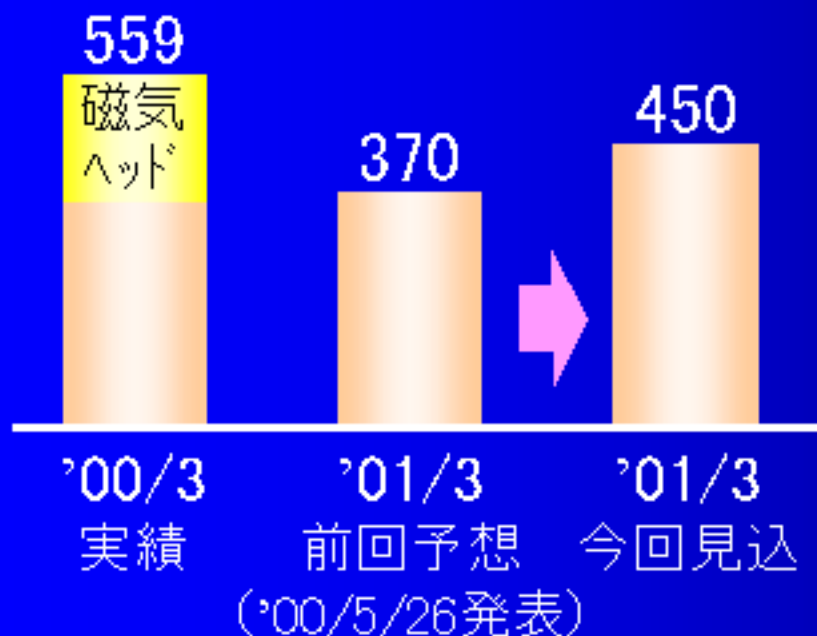
<営業利益>



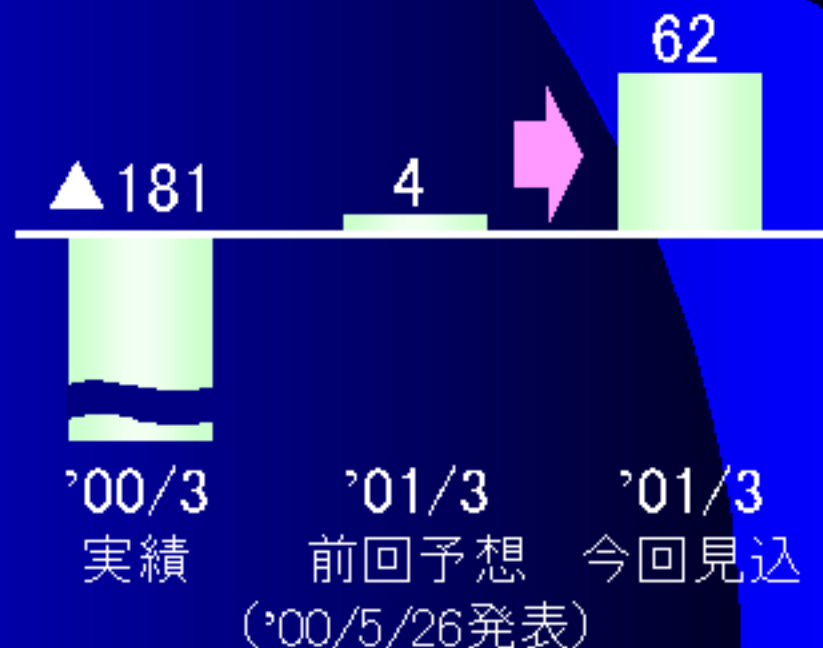
電子機器・金属

- 半導体は固定費削減と、強みとする「音」、「ネットワーク」に集中し、増収増益を達成。
- 電子金属も、リードフレーム材を中心に好調維持。

＜売上高＞



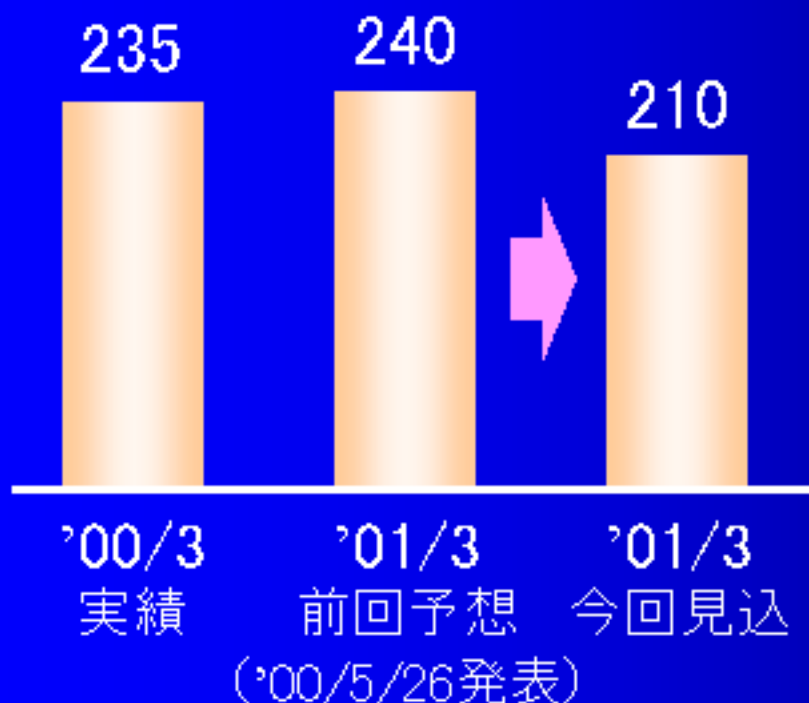
＜営業利益＞ (億円)



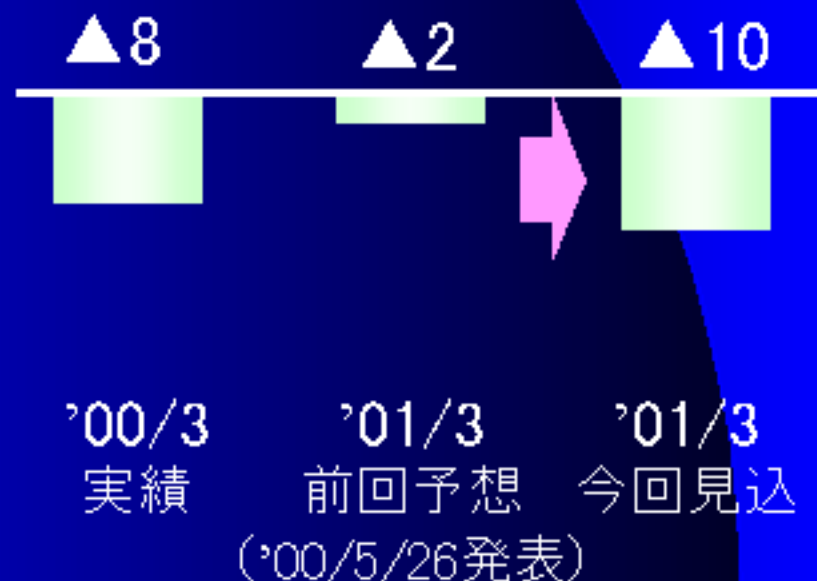
レクリエーション

- 景気回復の遅れにより、集客が低下。

＜売上高＞



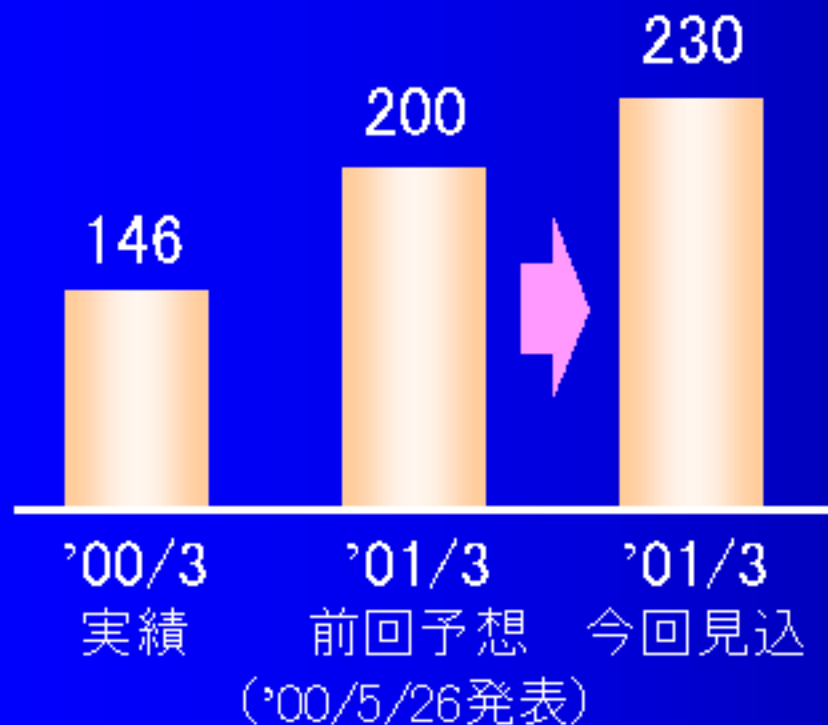
＜営業利益＞ (億円)



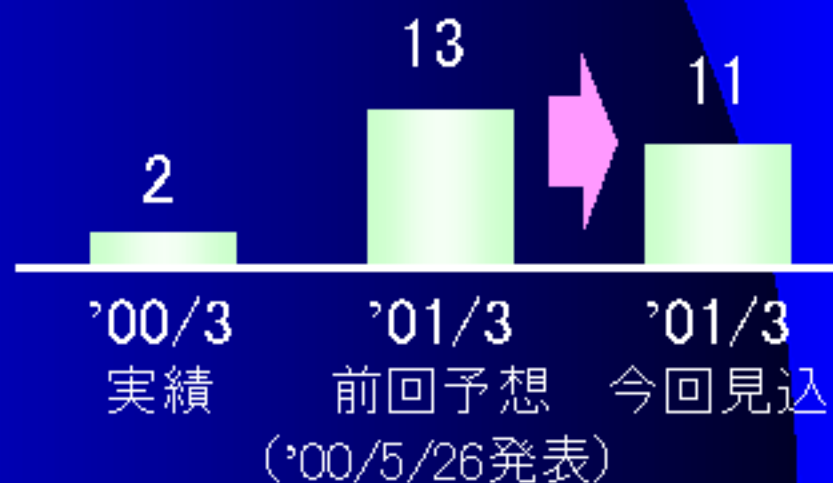
その他事業

- 技術的強みを背景に、マグネシウム筐体、自動車用内装部品拡大。

＜売上高＞



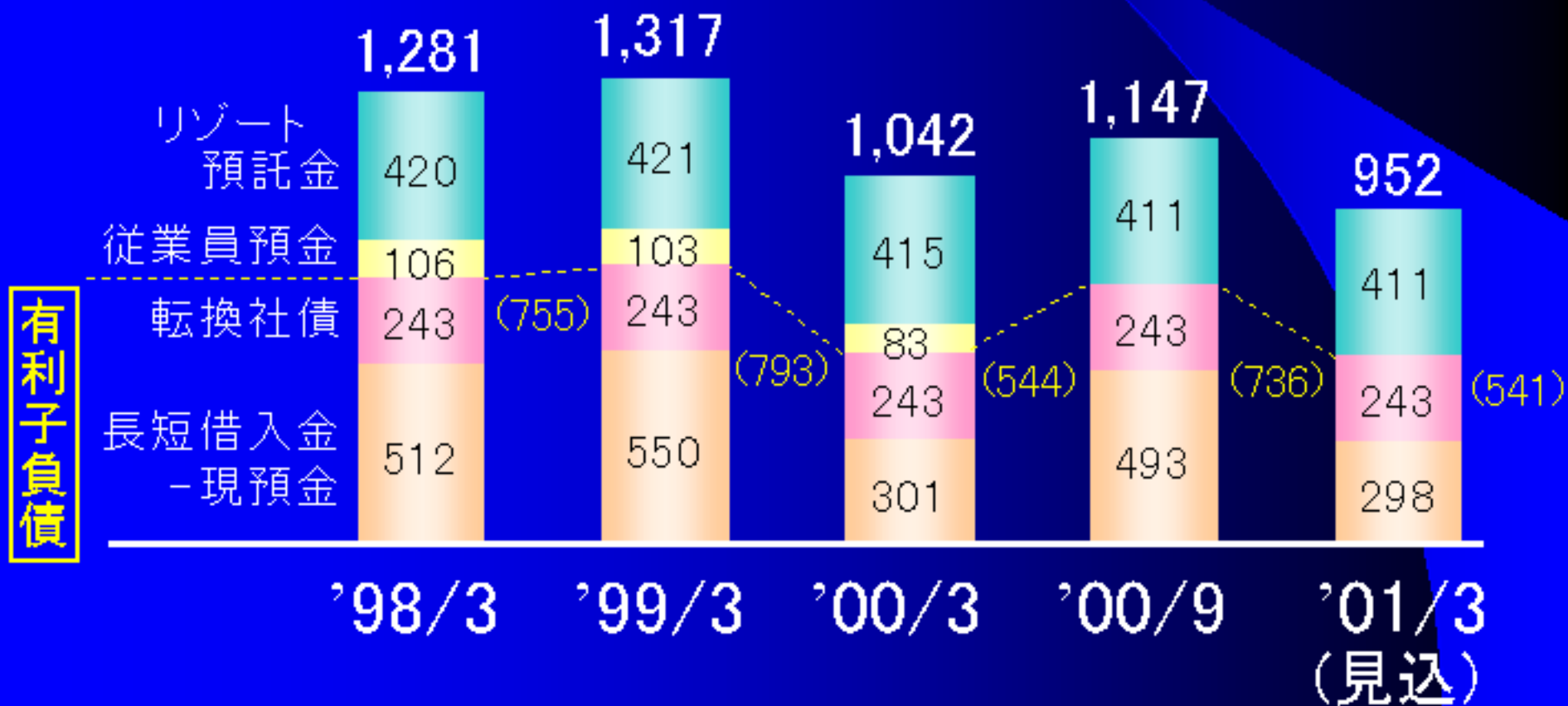
＜営業利益＞ (億円)



1-4. 財務の状況

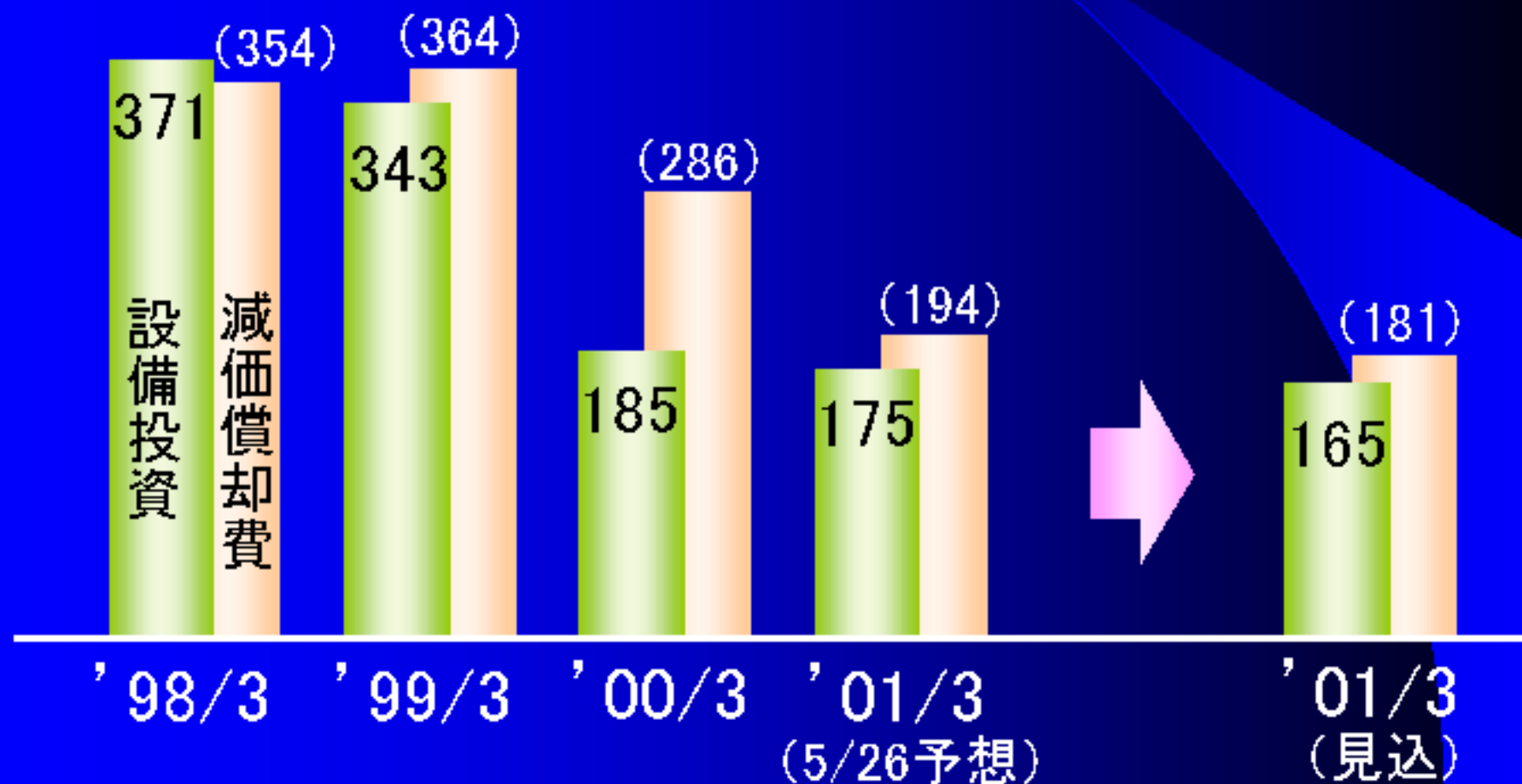
実質借入金残高

- '01/3での実質借入金残高は952億円。
有利子負債は541億円まで圧縮。



設備投資・減価償却費

－磁気ヘッド事業撤退により、設備投資は半減。



キャッシュフロー

'01/3

(予想)

-営業

108

・利益+償却

+282

(固定資産売却益、持分法調整)

・従業員預金制度廃止

▲83

・運転資金他

▲91

-投資

▲87

・取得

▲195

・売却

+108

資金収支計

+21

-財務

▲25

-計

▲4

'01/3予想貸借対照表

(億円)

	'00/3	'01/3 (見込)	+/-
現預金	338	328	▲ 10
売上債権	735	805	+ 70
棚卸資産	774	750	▲ 24
他流動資産	213	125	▲ 88
固定資産	2,925	2,933	+ 8
為替換算	446	0	▲ 446
資産計	5,431	4,941	▲ 490
仕入債務	523	467	▲ 56
借入金	639	626	▲ 13
転換社債	243	243	-
他負債	1,809	1,711	▲ 98
資本計	2,217	1,894	▲ 323
(内、為替換算)		(▲455)	
負債・資本計	5,431	4,941	▲ 490

下期施策

中期事業戦略の策定(2月発表)

成長へのチャレンジ

グループ・連結経営

企業価値の増大
ブランドを輝かす